

追加公募
受付中!

今がチャンス!! / 新たな販路開拓・拡大で売上UP!!

小規模事業者 持続化補助金

受付締切 / 平成29年 5月31日(水)

対象 事業者

商工会地区で事業を営む常時使用する従業員数が次の事業者
卸売業・小売業 5人以下
サービス業(宿泊業・娯楽業以外) 5人以下
サービス業のうち宿泊業・娯楽業 20人以下
製造業その他の業種 20人以下

補助対象 事業

経営計画に基づき、商工会の支援を受けながら行う販路開拓事業
チラシの作成・配布、商品パッケージの改良、HPの作成・リニューアル、店舗改装、
商談会・展示会への出展、ネット販売システムの構築、新商品の開発等
※販路開拓と合わせて取組む業務効率化・生産性向上も対象。

補助率等

補助対象経費の2/3 上限50万円

今回の追加公募では、小規模事業者の円滑な事業承継を後押しするため、代表者が満60歳以上の事業者における事業承継・後継者候補が中心となって取り組む事業について、重点的に支援します。

補助対象 経費

①機械装置等費 ②広報費 ③展示会等出展費 ④旅費 ⑤開発費 ⑥資料購入費
⑦雑役務費 ⑧借料 ⑨専門家謝金 ⑩専門家旅費 ⑪車両購入費 ⑫委託費 ⑬外注費
※詳細につきましては持続化補助金公募要領等ダウンロードサイトよりご確認ください。
(<http://www.shokoren-toyama.or.jp/kenren/H29jizokuka.page>)

申請から補助金受領までの流れ

ステップ1

申請書・計画書等、提出資料一式を作成し、最寄りの商工会へ提出ください。商工会がサポートします!!
※商工会経由で富山県商工会連合会へ提出します。※商工会で支援計画書を作成するため10日程の余裕をもって提出ください。

ステップ2

外部有識者による書面審査、全国商工会連合会にて審査を行い、採択・交付決定します。
交付決定日が事業の開始日となります。補助金は精算払い方式です。

ステップ3

販路開拓等の取り組みを実施します。
事業実施期間は、交付決定日から最長で平成29年12月31日(日)です。

ステップ4

事業終了後、すみやかに実績報告書を作成し、商工会へご提出ください。
最終期限は、平成30年1月10日(水)です。

ステップ5

実績報告書の不足・不備がないことの確認が終わり次第、補助金の請求をします。
その後、所定の口座に振込みされます。

申請書提出先
お問合せ先

富山県地方事務局

富山県商工会連合会または最寄りの商工会まで

〒930-0855 富山県富山市赤江町1-7 <http://www.shokoren-toyama.or.jp/>

TEL.076-441-2716/FAX.076-433-8031 〈受付時間〉9:00~17:00(土日・祝日を除く)

自社の経営を考えるきっかけにしてみませんか！

事業のイメージを計画にまとめる支援をいたします。

広告宣伝で知名度アップ！

- 販促用カタログ・チラシ・DMの作成、配布・ポスティング
- インターネット広告
- マスコミ（TV・ラジオ・新聞・フリーペーパー）広告
- 看板のぼり作成・設置

IT化で売上アップ！

- ネット販売システムの構築
- HPの作成・リニューアル



商談会・展示会で販路拡大！

- 出展料
- 運搬費
- 通訳料・翻訳料



業務の効率化・生産性の向上！

- 業務改善の専門家からの指導、助言による長時間労働の削減
 - 従業員の作業導線の確保や整理スペースの導入のための店舗改装
 - 倉庫管理システムのソフトウェアを購入し、配送業務の効率化
 - 労務管理システムのソフトウェアを購入し、人事・給与管理業務の効率化
 - POSレジソフトウェアを購入し、売上管理業務の効率化
 - 経理・会計ソフトウェアを購入し、決算業務の効率化
- ※販路開拓と合わせて行うことが条件となります。

魅力ある店づくりで集客力向上！

- 陳列レイアウト改良
- 陳列棚の改良
- 店舗・トイレの改装
- バリアフリー化



ソーシャルビジネスで社会ニーズに応える！

- 移動販売、出張販売のための車両等購入
- コミュニティサロンの設置



新たな商品開発で新規市場開拓！

- 新商品の試作開発にともなう原材料、設計、製造、改良、加工
- 専門家による新商品開発に向けた指導、助言

新たなデザインの導入で商品力アップ！

- 包装パッケージ等の試作の改良・開発
- ロゴ・キャッチコピーの制作

県内外・外国人に優しいおもてなし向上！

- 客室、トイレ、休憩スペース、ベンチの整備
- 外国語表記のパンフレット・マップ・案内板の制作・整備

エコなお店のアピールでイメージアップ！

- 照明のLED化
- 省エネ設備の導入
- リサイクルサービスの提供



活用事例

新商品企画による店頭販売促進事業

事業所／(有)安居商店 [ANGO安居 南砺市城端]
代表者／安居 博

当店は、近隣スーパー等への卸売りを中心に営業する老舗和菓子店でしたが、洋菓子を修業した後継者の従事を契機に店舗販売の促進に取り組んでいました。また、近年は親子の技術を活かした和洋折衷菓子の開発に取り組んでおり、この商品を店舗販売の主力に育てたいと考えていました。そこで当店は、和洋折衷菓子の認知度向上と来店顧客の増加を図るため、PRチラシの作成とサイン看板の設置を計画し、本補助事業に公募しました。PRチラシは、「贈答商品（菓子箱）で顧客提案」という商工会の助言を受け作成した結果、売上増加や顧客単価の向上に加え、商品を贈られた新たな顧客来店などで効果を感じています。本補助事業は、後継者を中心に取り組みましたが、後継者が経営に参画する機会となり、近い将来の安定した事業継承にも効果を期待しています。



ギフト需要の獲得に販路拡大

事業所／丸玉(株) [立山町]
代表者／吉川 毅一

魚処富山が誇る食文化「昆布メ」の製品を三十年製造しています。今回「麹仕込み ぶり茶漬け」を開発しました。この新商品は、ぶりの青魚特有の臭みを抑えるとともに、発酵・熟成の技術でまろやかな旨味を実現しました。魚・昆布・麹といった自然の恵みに加え、手間ひまかけて作ったこだわりが評価され、大手百貨店と取引を開始するなど、ギフト需要の獲得に繋がっています。開発するにあたり、電気式温蔵庫とフードプロセッサーの設備投資や、パッケージデザインの制作等において、商工会のサポートを得て小規模事業者持続化補助金を活用しました。わが社は経営資源に限られており、商品開発や販路開拓は容易ではありませんが、補助金を積極的に利用することで、チャンスをつかむことができました。商工会に相談することで、計画がブラッシュアップされ、目標もクリアになりました。また、様々な角度から意見をもらえ、大変参考になりました。我々小規模事業者を取り巻く環境は依然厳しさがありますが、事業者を支援する補助金や制度は多くあり、年々変化しています。今後、商工会や補助金など、大いに活用していきたいと思えます。

